

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県五福公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市五福

3 施設設置年度
昭和33 年度

4 設置目的
昭和33年に初めて富山県で開催された国民体育大会にあわせて整備された運動公園

5 施設概要
敷地面積：15.6ha
主な施設
・県営富山野球場：19,700㎡ 収容人数約20,000人
・陸上競技場：26,600㎡ 400mトラック8コース
・野球広場：20,800㎡ 2面
・スポーツ広場：12,100㎡ クレイ舗装

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
152,600	142,800	174,100	161,800	177,200

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
5,211	5,077	5,223	4,152	5,235

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
5,180	5,180	5,180	4,602	5,179

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は対29年度比109.5% (15,400人増)、有料公園施設の料金収入は対29年度比126.1% (1,083千円増)であった。
・平成29年度は、日本陸上競技連盟第2種公認更新工事のため、約3か月間、陸上競技場を利用できなかったが、平成30年度の利用者数及び有料公園施設の料金収入は平成28年度ベースに回復した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者ニーズに合わせ、供用日、供用時間を弾力的に運用した。(野球広場の早朝利用に合わせた供用時間延長、夏休み期間及び大会期間中の無休化など)
・ホームページやLINE@を活用し、イベント広報や積雪状況などをスピーディーに提供した。
・平成30年度から新たに野球BCリーグの試合日にあわせて「五福まちなか夏まつり」を開催したほか、「イチョウ並木のライトアップ」にあわせて富山大学ジャズ研究会によるJAZZ演奏会を実施し、賑わいの場を創出した。
・体育の日に、予約の無い有料施設を無料開放した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・ポイントカード発行による利用料金割引を行い、リピーター確保と稼働率向上を図った。
・富山県ふるさとの公園スポンサー事業によるベンチの寄附の受入れを積極的に行った。
・平成29年度から有料公園施設の電子予約システムを導入した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：平成30年6月2日 実施方法：来園者への対面アンケート
回答者数	回答者数：34人
結果	・施設・設備の管理について：満足59%、普通38% ・芝生・樹木の管理について：良い74%、普通26%
結果を踏まえた改善事項	—

② その他利用者の声を反映させる取組み

・意見箱を2台設置（野球場正面入口、陸上競技場正面玄関）している。
・利用団体等と五福公園運営会議を実施した。

③ 主な苦情と対応

・駐車場入り口にある車止めポールが見えにくい。⇒車止めなど関連するポールに蛍光シールを貼りつけたほか、縁石に反射材を設置した。
・朝間野球による騒音⇒公園の周辺住民への騒音防止の注意書きをベンチ柱に貼った。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・カタール・富山と連携したサッカー教室を開催した。
・近隣教育機関の学生等と連携して、陸上競技場の冬期間における除雪作業を行った。
・近隣住民の協力を得て、排水路の清掃を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

	有/無	回数(有の場合)
① 定期報告の受理	有	12
② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	6
③ 個人情報に関するトラブルの有無	無	-
④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・指定管理者独自の供用時間の延長、供用日の拡大のほか、平成30年度新たに富山大学の学生サークルと連携したイチョウ並木のライトアップを実施するなど、平成29年度の課題であった利用促進に取り組む姿勢が見られる。
・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、コストバランスも考慮しつつ、利用者の安全を最優先に優先順位をつけて計画的に修繕・更新を行っていく必要がある。
・今後とも、アンケート調査等による利用者ニーズの把握を行うとともに、合宿の誘致や様々な行事での利用を含め、積極的なPRや情報発信の方法の工夫などに努めてもらいたい。